



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 31年 3月 31日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ けんぶちょうでんとうがいのでんしやうほじんかい
団体名 建部町伝統芸能伝承保存会
所在地 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]
フリガナ [REDACTED]
代表者氏名 [REDACTED]

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	建部地域伝統芸能伝承事業
事業実施区域 (小学校区)	建部小学校区 竹枝小学校区 福渡小学校区
①事業実施内容	※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。た、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。  〇7～8月 各保存会で実施準備会議 〇9月より練習開始 〇10月各戸訪問しお祓いと演舞 〇10月秋祭りイベント 〇11月建部町文化祭で獅子舞の演舞、御津獅子舞フェスタで演舞 〇元旦、吉備津彦神社での獅子舞の演舞 〇2月めだかの学校の環境学習で棒遣いの披露

② 解決を目指した課題	○中山間地域の課題である、少子高齢化の中での事業の継続がいかに行けるか。 ○この事業に参加している12の保存会が欠ける事無く継続していけること。 ○各保存会で一人でも多くの小・中・高校生が参加し、永く継続できる事を目指し後継者の育成を進める。 ○保存会の意義を伝えるため、地域のイベント等に積極的に参加をする。 ○移住者にも保存会の意義を説明して、地域の事業に積極的に参加してもらえ環境造りを行う。
③ 目的・目標の達成状況	ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こしにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。 ○ 少子高齢化の中での事業の継続がこれまで通りにできた。保存会の12団体とも幼児も含め新たな演者も多数誕生してきた。10回以上にわたる夜毎の練習を重ね、活気ある活動ができた。そして秋祭りだけでなく、昨年より新たに御津芸能討論会参加、御津獅子舞フェスタでの演舞等、隣接地との交流を始めることができた。 ○ 消耗品は各保存会毎に購入しているが、購入値段にかなりの差がある物がある。連絡会議にて価格や品質等の情報交換を行った。草鞋など地元で用意できるものは地元の伝統を守る意味からも地元で揃えるようにしていくことも大切なことであり、人材の情報交換を今後できるようにできればと考える。 ○ 地元での理解と協力を維持していくために、それぞれの保存会とも各戸を回り玄関先でその家の五穀豊穡と繁栄を祈念して獅子舞や棒遣いの演舞を行っている。古き良き農村の風物詩の重要性と、少子高齢化地域におけるコミュニケーションの在り方等を模索する足掛かりとなると考えられる。 ○ ここ数年、元旦に獅子舞の演舞を吉備津彦神社で行い、多くの人に見てもらえる機会がきている。縁起物としての獅子舞の有効性を発信できていると思われる。 ○ 他の地域に出向いて演舞できれば、メディアにも取り上げられ、PR活動の一翼を担って戴けると考えられる。

④企画等の工夫と情報公開	※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。 <伝承活動> ○子どもたちの参加を促すよう、小さい子どもにも練習などに参加させて、早く自分もやりたいという気持ちにさせるような働き方を継続していくことを心がけている。 例えば、小学校の発表会等で機会が得られた場合に演舞させる。 近隣地域のイベントに参加する。 <広報活動> 秋祭りに向けた体制作りは8月の夏休み後半からその体制に入り、その年の演者の選定が始まる。9月中旬にはメンバーを集め、組み合わせや練習日を決めて動く体制に入る。 課題は、町外への発信であるが、めだかの学校での棒遣いの演舞に加えて、ここ数年は吉備津彦神社の元旦祭で獅子舞の演舞を行うなど外部向けの発信がかなりできた。 御津獅子舞フェスタでの演舞等、隣接地との交流を始めることができ、御津地域のフォトコンテストにおいて、建部から参加した獅子舞の写真が最優秀賞に選ばれ、展示公開された。この事が山陽新聞にも記事として載り、建部の活動が少しは認知されたのではないかとと思われる。
⑤次年度計画	※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。 <伝承活動> ○保存会によっては、近年まで棒遣いもやっていたが、やれる人がいなくなって、今は神楽だけというところもある。もう一度復活できればいいが、これからさらにできないというところが増えないように、お互いに助け合い、知恵を絞って行く必要がある。可能であれば、相互の指導も必要になると思われるため、連絡会議の議題に取り上げる。 ○子どもたちの参加を促すよう、小さい子どもにも練習などに参加したくなるような雰囲気作りを心がけ、早く自分もやりたいという気持ちにさせるような働き方を継続していくことなど心がけている。 しかし、勉強優先であまり参加させたくない親も少なからずいる。 こうした活動が子供たちの成長にとっても大切なこと理解して協力してもらえるような働きかけの仕方も考えていく必要があると感じている。④の伝承活動に準ずる。 ○他地域との交流なども進めていければと考えるが、一番は時期と費用が課題となる。 岡山の桃太郎まつりも同じであるが、建部町の秋祭りとぶつかってしまい、毎年の呼びかけにも応えられていない。また、1回の演出でも保存会によっては30人を超えるため、多くの費用が掛かるため難しい面がある。 費用がかかってもそれを上回るだけの意義がある催しといったものができれば、無理をしても参加をということになると思うが、基本は今後の活動に必要な資金の蓄えがなければ伝承もできない。少なくとも経費以上の収入が得られる事業が求められる。

⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。 ○ 一部保存会では、地域外の参加者が誕生した。参加募集を兼ねたPRの成果とも思えるが、御父兄の理解と協力がなければ難しく、継続できるかどうか気がかりである。 ○ 若者達の流出は社会的要素が大きく、地域のみで解決できない。従って、残った住民が地域を活性化させるためには、3～4世代にわたる住民が同じ目的で活動する保存会の伝承活動こそ、最も有意義な町内会活動の1つであると自負している。 ○ 伝承活動の基本は、途絶えることなく続けて行くことではあるが、一生懸命しても地域内だけの行事ではなく、他の地域での発表の機会が必要と考えている。今年度は御津地区との交流に参加した子供たちが、喜んでくれたため、一定の成果はあったと思う。 ○ ④の伝承活動にも記したが、連合町内会または学区等の連携により、小学校の発表会等で活動発表ができればと期待している。
	○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 ・町内会と連携した地域発展に効果的な事業の推進。 ・次世代への具体的な伝承活動の実施。 右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。 (理由：) ・建部町の各保存会は町内会の役員で構成された団体であり、町内会の活性化、世代を超えたコミュニケーションの重要性を認識する活動の一環と位置付けて活動している。 ・子供達へは伝統を守る活動と合わせ、地域に貢献してきた達成感を感じてもらう。そのために、地域外のイベント等で発表できる機会を与える。 ・伝統を伝承するために、指導者が獅子舞等の意義を次世代に伝える必要があるため、今年度はまず関係の討論会に参加した。 助言等の内容について、改善ができましたか。 Ⅰ できた Ⅱ ☒ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
5 月 13 日	役員会
6 月 2 日	平成 29 年度建部町伝統芸能伝承保存会総会、並びに連絡会議
8 月 27 日	課題共有ワークショップ参加
9 ～ 10 月	各保存会にて打ち合わせ、練習、指導
9 月 24 日	御津芸能討論会参加
10 月 6 日	練習取材
10 月中旬	各保存会にて村廻り、秋祭りへの奉納
10 月 14 日	村廻り、建部祭取材
11 月 4 日	御津公民館祭 獅子舞フェスタに出演
11 月 12 日	各保存会に会計処理のお願い文を配布
11 月 18 日	建部町文化祭に、富沢神社棒遣い並びに神楽保存会が出演
12 月 24 日	役員会
1 月 元旦	吉備津彦神社での獅子舞演舞
1 月 13 日	臨時総会、並びに連絡会議
2 月 19 日	会計監査
2 月 24 日	めだかの学校の環境学習にて棒遣いの演舞
3 月 1 日	課題共有ワークショップ参加

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	432,000	432,000	
負担金	432,000	432,000	36,000 円 x12 団体
協賛金	0	0	
その他収入	1,000	926	
預金利息	0	0	
次年度繰越金			
計	865,000	864,926	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
① 消耗品費	480,000	465,437	草鞋代、足袋代、コピー用紙・インク、その他
② 食糧費	44,000	42,334	お茶・ジュース等(練習・会議用)
③ 印刷製本費	5,000	3,350	プリント代
④ 燃料費	1,000	0	軽トラガソリン代
⑤ 光熱水費			
⑥ 通信運搬費	3,000	2,266	切手代(会議。連絡文書用)
⑦ 広告料			
⑧ 手数料	149,000	154,749	クリーニング代(袴、帯、等)
⑨ 使用料・賃借料	5,000	16,300	会場使用料等
⑩ 原材料費	120,000	81,490	リボン、綿代 他
⑪ 委託料	0	36,000	
⑫ 工事請負費			
⑬ 報償費	55,000	63,000	指導者報償金
⑭ 保険料	3,000		傷害保険
⑮ 旅費			
計	865,000	864,926	